

一般質問通告書

受領日時 令和4年8月29日 午前10時15分

6番 氏名 荒川 滋

| 質問項目 | 質問の要旨 |
|--------------------------------------|---|
| 1 災害対応と安全 安心な暮らしを支える 基盤づくりについて | <p>(1) 激甚災害指定により復旧事業に対する国の補助率を1割程度引き上げ早期復旧の後押しすることになるが具体的な対象は道路、河川、下水道など土木施設に加え、学校、福祉施設、農地、水路、林道など公共施設や農地などに限られる。 平時ではない今、床下泥撤去や消毒など住宅再建、自動車、家電、家財道具損傷廃棄、民有地や私道の損壊など深刻な被害を受けた方に寄り添い激甚災害に見合った町独自の手厚い支援が必要だ。</p> <p>(2) 農地に流入した泥や石、木などの除去支援をどのように進めるか。 それから、農業資材や燃料の高騰により農家の経営は一層厳しさを増している。合わせて今回の大災害の影響で離農者増加も予想される中、希望が持てる産業であるために町としてどう取り組むか。総合発展計画、農林業のめざす姿『安心かつ安定した農業経営が確立されています。魅力ある生産基盤で、新規就農者が増え、意欲と能力のある担い手が育成されています。』との目標が実現するように。</p> <p>(3) 流木などが引っ掛かりやすい構造の『湯ノ又橋』の今後は。水管橋含む。</p> <p>(4) 昨年1月に策定された五城目町国土強靱化地域計画の13ページ1-3、1-4に掲載されているが、3河川の大規模改修と浚渫、土石流対策として既存砂防堰堤の土砂撤去と新設について県にあらためて要望を。これまでより強く。</p> <p>(5) 繰り返し浸水被害に遭われる方々の心労は大きい。今回の大規模な宅地浸水域の検証は現在進められていることなので、今定例会では本町部の次に地区に絞って伺う。 PDCAサイクルによる検証と今後の対応は。 ・杉ヶ崎(田町)、森林組合近くに設置の分水装置の効果は。 ・下夕町(築地町)、戸村堰の頭首工改修による効果は。 ・神明前(畑町)、稲荷前(築地町)、小倉堰との関係。 ・七倉地区の国道285号線、県の調査は活かされたか。</p> <p>(6) 先手を打ち、人的被害を出さなかった一連の高齢者等避難情報と避難指示、13日未明の緊急安全確保発令の際、対象者への伝達方法は。 それと、避難者数をどう検証するか。</p> |

| | |
|---------------------------------|--|
| | <p>(7) 濡れた衣服で避難所を訪れる避難者への対応が必要だ。</p> <p>(8) 大きな災害となった今回の記録的豪雨では、町北部ほど雨量が多かったものと思われる。当町の雨量はアメダス設置の上樋口と水沢雨量観測所で観測しているが、町独自の観測所を増やす必要があるのではないか。</p> <p>(9) 住家浸水を未然に防ぐための土のう配布要望への対応は。</p> <p>(10) 12 日夜の水防団出動の判断は各団任せか。 それから、馬場目川久保水位観測所と内川川黒土観測所の水位情報の団への伝達が足りなかったのではないか。</p> <p>(11) 消防団はそれぞれの分団管轄地域で水防活動、避難誘導などに励んでくれた。災害発生後の復旧局面で、町消防団としての活動の場を作ることはできなかったか。災害復旧は消防団の活動規定にはないかもしれないが、これまで作業を実施した例は全国である。町の考えは。</p> <p>(12) 8月に断続的に発生した上水道の濁り。町では HP 掲載したが町民に安全性を確実に伝えたいと、泥吐きなど現時点でできる対応が必要だ。安全で良質な水道水の安定供給のために。</p> |
| <p>2 学校教育について</p> | <p>(1) 八郎潟町と大潟村では小中隣接化、井川町では県内初の義務教育学校化となった中で、あえて違う校舎での学習を選択した我が町。その理由として離れていても小・中・幼保の連携は可能だとされたが、その取り組みの現状は。</p> <p>(2) 通学路の安全点検をあらためて行う必要がある。</p> <p>(3) 中学校休日の部活動の地域移行は各市町村が主体となり進めていくことになっているが、町の現状と今後は。</p> |
| <p>3 重要性が増している民生児童委員の空白域解消へ</p> | <p>(1) 高齢化が進む当町において民生児童委員の活動の重要性は年々増している。現在、全 51 地区のうち 3 地区で欠員が生じている。本年 11 月 30 日までの任期だが欠員が増加する可能性もあるが委員空白域解消に対し町の関わりは。これまでのようによくまでも町内会の推薦頼りか。</p> |